

少数台数のリコール届出の公表について (平成28年10月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成28年10月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月3日	外 2366	車名：BMW 型式：ABA-FV44M 他 通称名：BMW M5 他	71	平成26年 9月 8日～ 平成26年12月 2日
不具合の部位等	プロペラシャフトにおいて、鋼管の製造管理が不適切なため、鋼管の合わせ面の溶接強度が不足していることがある。そのため、走行時の駆動トルクによってプロペラシャフトのジョイントと鋼管の接続部に亀裂が入り、そのままの状態を使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、接続部が破断し、走行不能となるおそれがある。			

2. 届出者：ワイ・エンジニアリング株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月5日	外 2384	車名：シボレー 型式：不明 通称名：Express	21	平成22年 1月 7日～ 平成24年 3月 29日
不具合の部位等	インストルメントパネルの材質が不適切なため、助手席の乗員がシートベルトをしていない状態で、事故等によりインストルメントパネルに頭を打ち付けた場合にケガをするおそれがある。			

3. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月17日	3906	車名：日野 型式：QKG-SH1EGDG 他 通称名：日野プロフィア	45	平成28年 8月 8日～ 平成28年 9月 2日
不具合の部位等	大型トラクタにおいて、フロントブレーキホースの締付け作業が不適切なため、ホース接続部の締付け力が不足しているものがある。そのため、ホース接続部が緩みエアが漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。			

4. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月17日	外 2391	車 名 : BMWアルピナ 型 式 : FDA-PP10 通称名 : XD3 ビ・ターボ	69	平成26年12月 1日～ 平成28年 8月 1日
不具合の部位等	I S O F I Xチャイルドシートを固定する車両側の固定ブラケットの耐久性が不足しているため、チャイルドシートを装着状態で走行した際の荷重が固定ブラケットに繰り返し加わると、金属疲労によって固定ブラケットに亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、固定ブラケットが破損し、チャイルドシートが固定できず、最悪の場合、チャイルドシートが外れるおそれがある。			

5. 届出者：住友ナコフォークリフト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月21日	3904	車 名 : SN 型 式 : XDN-D4L 他 通称名 : FD50PXII 他	15	平成27年 4月28日～ 平成28年 5月13日
不具合の部位等	<p>① 制動装置において、ブレーキピストンシールの選定が不適切なため、耐熱性が不足している。そのため、ブレーキの熱で当該シールが損傷してブレーキ液が漏れて警告灯が点灯し、そのまま使用を続けると、最悪の場合、ブレーキ液が不足してブレーキが効かなくなるおそれがある。</p> <p>② 動力伝達装置において、ディファレンシャル内のスパイダーピンの形状が不適切なため、高負荷作業時にスパイダーピンの油膜が切れることがある。そのため、当該スパイダーピンが磨耗して磨耗粉が生じ、磨耗粉がブレーキピストンとブレーキハウジング間に噛み込み、ピストンシールが損傷してブレーキ液が漏れて警告灯が点灯し、そのまま使用を続けると、最悪の場合、ブレーキ液が不足してブレーキが効かなくなるおそれがある。</p>			

6. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月28日	3914	車 名 : いすゞ 型 式 : QTG-RU1ASCJ 他 通称名 : いすゞガーラ	35	平成28年 2月 1日～ 平成28年 2月17日
不具合の部位等	大型バスのブレーキにおいて、エキスパンダのウェッジの熱処理が不適切なため、硬度が不足しているものがある。そのため、制動を繰り返すことでウェッジが摩耗し制動力が変化し、最悪の場合、ウェッジが損傷し、車輪の制動ができなくなるおそれがある。			

※平成28年10月28日 公表済み

7. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月28日	外 2402	車 名 : ボルボ 型 式 : QKG-H2TDA1 他 通称名 : FH	5	平成26年 8月11日～ 平成27年 5月27日
不具合の部位等	<p>大型トラクタのEVSC（車両安定制御装置）装着車において、ESP（横滑り防止装置）のパラメータ設定（警告灯表示機能）が不適切なため、本装置の性能要件であるESP作動時のESPランプ点滅及び故障時のESPランプ点灯の警告表示をしないものがある。そのため、警告表示が保安基準第12条 細目告示第15条（協定規則第13号第11改訂版）に適合しないおそれがある。</p> <p>なお、制動装置及びESPは正常に作動するため機能上に問題はない。</p>			

8. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月31日	外 2388	車 名 : ドゥカティ 型 式 : ZDMH808JAEB 通称名 : 1199Superleggera	32	平成26年 5月12日～ 平成27年 1月 9日
不具合の部位等	<p>動力伝達装置において、クラッチ内部のダンパープレートの耐久性が不足しているため、急な加減速を繰り返すと、ダンパースプリングから加わる衝撃でダンパープレートに亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ダンパープレートが破損し、最悪の場合、破片が減速機のギアに噛み込み、後輪がロックして転倒するおそれがある。</p>			

【参考】

●平成28年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	15 (- 3)	12 (- 3)	3 (± 0)
輸入車	14 (- 3)	9 (- 2)	5 (- 1)
小計	29 (- 6)	21 (- 5)	8 (- 1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成28年度)

〈速報値〉

月				対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-5)	12(+11)	29(+6)	1,983,793(-29,759)	26,163(+26,065)	2,009,956(-3,694)
5	9(-10)	4(-11)	13(-21)	105,591(-4,258,536)	3,211(-63,982)	108,802(-4,322,518)
6	28(+10)	11(-3)	39(+7)	4,733,139(+4,072,121)	100,979(+79,887)	4,834,118(+4,152,008)
7	23(+3)	14(+2)	37(+5)	960,458(-1,479,908)	23,973(+12,708)	984,431(-1,467,200)
8	15(+13)	3(-2)	18(+11)	149,613(+148,952)	410(-2,164)	150,023(+146,788)
9	16(-8)	12(-5)	28(-13)	1,549,950(+558,329)	126,119(+74,688)	1,676,069(+633,017)
10	15(-3)	14(-3)	29(-6)	1,528,700(-331,484)	222,885(+208,206)	1,751,585(-123,278)
小計	123(±0)	70(-11)	193(-11)	11,011,244(-1,320,285)	503,740(+335,408)	11,514,984(-984,877)

※ () 内は、対前年比